

(2)物事を強要しないかかわり

No.	一日の流れ	チェック内容
1	日中	「〇〇しないなら〇〇できない」との言葉がけではなく、子どもが自分自身で考え行動できる力を育める言葉がけをしている。
2	昼食時	ごはんをこぼした子どもに対して、ほかの子どもがいる前での指摘はせず気づけるよう声を掛けたり、一緒に片づけたりしている。
3	午睡時	なかなか寝付けずにいる子どもに、自分の仕事を優先して考えるのではなく、子どもの状況に配慮した関わりをしている。
4		寝れずに話をしている子どもに対して、他の子どもに迷惑が掛かること、身体を休めることの大切さを伝えている。
5	その他	子どもに恐怖感を与えて、保育者の指示に従わせるのではなく子ども自ら考え行動できるような言葉がけをしている。

(3)罰を与えないかかわり

No.	一日の流れ	チェック内容
1	日中	子どもの人数チェックをする際、強く頭を叩くことなく一人ひとりの顔を見ながら丁寧に関わっている。
2		並ぶときなどに、腕をつかんで引っ張ることなく子どもが納得して自ら行動できるよう配慮している。
3		子どもに注意する際に、暴力的な行動によって指示に従わせるのではなく自ら行動できるよう促しをしている。
4	午睡時	なかなか眠れない子供に対してそっと手を添えたりゆったりとリズムを刻むなど安心できる関わりをしている。
5	その他	子どもに注意をしたが、受け入れなかった子どもに対し、罰を与えるようなことなく何がいけない行動であったか等、具体的に分かりやすい言葉がけをしている。